

2024年9月幹事会 企画幹事資料

1. 次期幹事

名簿に従い、アプローチを開始した。状況は下記のとおり。

内諾済み： マルホ株式会社、株式会社富士薬品、持田製薬株式会社、サーター合同会社
延期希望： Meiji Seika ファルマ株式会社（社内事情により1年）
ご辞退： 富士通株式会社

2. 2024/2025年度 例会の準備状況

① 2025年1月例会

開催日：2025年1月31日（金）午後

場所：東京ガーデンパレスホテル

講演	演題・所属・氏名	備考
一般公演	1) 45min :「エステル型プロドラッグの加水分解におけるα1-酸性糖タンパク質（AGP）の関与と種差に関する研究－AGPによるエステラーゼ様活性－」 小野薬品工業株式会社 河野 健太 先生	済 演題 済 演者 未 ご略歴
	2) 45min :「原発性腋窩多汗症治療剤エクロックゲル 5%の薬物動態」 科研製薬 TBD 先生	済 演題 未 演者 未 ご略歴
特別講演	15:15～16:15 「TBD」 TBD TBD 先生	未 演題 未 演者 未 ご略歴

司会 MSD 株式会社

特別講演での候補：城西大学 藤堂浩明先生（トピック案：経皮吸収改善、ナノ粒子による DDS 戦略、3D モデルでの有用性、中高分子の経皮吸収改善）、金沢大学 深見達基先生（トピック案：加水分解酵素）

② 2025年4月例会

開催日：2025年4月18日（金）午後

場所：千里ライフサイエンスセンター

一般講演（コンタクト前）：キッセイ薬品工業株式会社、杏林製薬株式会社

3. 2024 年度 第 47 年会の準備状況

① 開催概要

開催日： 2024 年 11 月 14 日（木）～ 15 日（金）

場所： オークラアクティシティホテル浜松

事務局： 岸本・伴野（日本ベーリンガー），岩佐・松田（MSD），小森・永易 常任幹事

② 準備状況

- 会場：平安 I・II を予約済み（昨年と同一， Web 講演含む）
- 予算：（別紙（1）参照）

	2024 年（案）	2023 年
支出	約 459 万円	456.7 万円
収入	約 231 万円 (一般会員 60 名を含む計 100 名)	271.3 万円 (合計約 120 名)
談話会負担	約 228 万円	168.1 万円

- 講演要旨集：作成中，参加者に HP よりダウンロード形式で配布予定

③ プログラム & Flyer 案

- 最終案完成（演者・ご講演タイトルは確定済み）
- 座長は最終案をご承諾済み（未定：意見交換会）
- パネルディスカッションは本年は実施せず，一方で各ご講演時間を 5~10 分長めに設定しセッション内で議論いただく予定
- 今後の予定
 - 10 月頭：会員企業へ申し込み案内予定（カバーレター， プログラム， Flyer）
 - 10 月中旬：要旨集完成
 - 10 月下旬：動線リスト作成， 講演者・座長への最終確認
 - 年内：収支報告（w/会計幹事）と反省点のとりまとめ

④ 企業展示ブース内諾済み企業（最大 5 ブース， 計 2.5 時間の休憩時間 + 企業紹介）

- 株式会社フェニックスバイオ
- 日本ウォーターズ株式会社
- ミタスジャパン株式会社

⑤ 会期中の幹事会

- 年会 2 日目の朝 8:00~9:30 の間で調整中

別紙（1）収支計画

支出			収入		
施設・サービス	Day1	平安I/II室料（▲60%）	¥320,000	参加費（@¥35k）	一般会員60名
		音響・映像費	¥143,000	参加費（@¥35k）	幹事会6名
		飲食費	¥108,000		
		幹事控室（▲100%）	¥0		
		懇親会室料（▲70%）	¥98,000		
		音響・映像費	¥134,000		
		料理(100名)・ドリンク(120名)	¥1,005,000		
	Day2	平安I/II室料（▲60%）	¥448,000		
		音響・映像費	¥181,500		
		有線回線（▲100%）	¥0		
		飲食等	¥361,400		
		幹事控室（▲100%）	¥0		
		幹事会室料（▲70%）	¥12,000		
		幹事会飲食費	¥86,500		
	小計		¥2,888,385		
謝金	演者		¥230,000		
	座長		¥50,000		
交通費補助	(概算)		¥200,000		
宿泊費	S朝食（¥12.4k, 60名）		¥744,000		
	S（¥10k, 20名）		¥200,000		
	T朝食（¥14.4k, 16名）		¥230,400		
	T（¥12k, 3名）		¥36,000		
合計		¥4,587,800	合計	¥2,310,000	

別紙（2）プログラム



薬物動態談話会 第47年会

薬物動態の複雑性の解明

- 個体差から革新的な治療法へ -

1日目：2024年11月14日(木) 14:00～19:00	
14:00～14:05	開会挨拶
14:05～14:20	会長挨拶 薬物動態談話会会長 金沢大学 玉井 郁巳
14:20～14:45	Showcase (シンポジウム1)
14:45～15:00	休憩

シンポジウム1：サイトーシスと中高分子薬の膜輸送

座長：井上 勝央 (東京薬科大学)	尾間 和久 (中外製薬)
15:00～15:50 [基調講演] ベブチド・タンパク質の細胞内送達とその送達様式	
	京都大学 二木 史郎
15:50～16:25 化学合成ペプチド医薬品の非臨床安全性評価の考え方	
	医薬品医療機器総合機構 直田 みさき
座長：尾間 和久 (中外製薬)	近藤 昌夫 (大阪大学)
16:25～17:00 血液脳関門技術を用いた希少疾患治療薬の開発	
	JCRファーマ 菊田 啓之
17:00～17:20 休憩	
座長：近藤 昌夫 (大阪大学)	小森 真文 先生 (エーザイ)
17:20～17:55 現状ペプチドの膜透過性研究と経口吸収予測	
	塩野義製薬 渡邊 郁剛
17:55～18:30 抗体薬物複合体の薬効発現におけるリソソームトランスポーターの役割	
	東京薬科大学 井上 勝央
18:30～19:00 事務連絡、意見交換会会場への移動	
19:00～21:00 Showcase (シンポジウム2)、企業展示紹介、意見交換会 (会場：3F チエルシー)	

1日目司会進行：岸本 航、伴野 拓巳 (企画幹事 日本 ベーリンガーインゲルハイム)

2日目：2022年11月17日(金) 9:30～16:30

会長講演

9:30～10:10	座長：永易 美穂 (中外製薬) 新規肝細胞培養法iChPを用いた胆汁中排泄解析法の提唱 金沢大学 玉井 郁巳
------------	--

特別講演

10:15～11:15	座長：杉山 雄一 (城西国際大学) Interindividual variability in drug metabolism and disposition: Implications, approaches and applications Washington State University, Bhagwat Prasad
11:15～11:35	休憩

シンポジウム2：Special populationにおける動態予測

11:35～12:25	座長：上村 尚人 (大分大学) 三好 啓 (ファイザーR&D) 【基調講演】患者集団における個人差と薬物動態分析を中心とした方法論：母集団薬物動態解析を中心に
12:25～13:35	昼食

13:35～14:10	座長：上村 尚人 (大分大学) 千葉 康司 (横浜薬科大学) 肝障害患者の薬物投与設計の難しさ
14:10～14:45	東京大学 大野 能之 腎障害時における薬物動態変動の予測－インタクトネフロン仮説の導入の必要性
14:45～15:10	中外製薬 浅野 啓志 休憩
15:10～15:45	座長：高江 誠司 (アステラス製薬) 三好 啓 (ファイザーR&D) 近年の小児医薬品承認品目における外挿戦略-既存データの利活用事例
15:45～16:20	日本製薬工業協会 辻本 真美 個人差決定要因の分離と投与最適化の予測
16:20～16:30	千葉大学 佐藤洋美 事務連絡

2日目司会進行：岩佐 隆史、松田 和樹 (企画副幹事；MSD)

別紙（2）Flyer

薬物動態談話会 第47年会
2024年11月14日（木）～15日（金）
薬物動態の複雑性の解明：個体差から革新的な治療法へ

特別講演 Interindividual variability in drug metabolism and disposition:
 Implications, approaches and applications
 Washington State Univ., Bhagwat Prasad

会長講演 新規肝細胞培養法icHepを用いた胆汁中排泄解析法の提唱
 金沢大学 玉井 郁巳

シンポジウム1：サイトーシスと中高分子薬の膜輸送

基調講演 ペプチド・タンパク質の細胞内送達とその送達様式
 京都大学 二木 史郎

一般講演 化学合成ペプチド医薬品の非臨床安全性評価の考え方
 医薬品医療機器総合機構 直田 みさき

一般講演 血液脳関門技術を用いた希少疾患治療薬の開発
 JCRファーマ株式会社 園田 啓之

一般講演 環状ペプチドの膜透過性研究と経口吸収予測
 塩野義製薬株式会社 渡邊 郁剛

一般講演 抗体薬物複合体の薬効発現におけるリソソームトランスポーターの役割
 東京薬科大学 井上 勝央

シンポジウム2：Special populationでの動態予測

基調講演 患者集団における個人差と亜集団を評価する方法論：母集団薬物動態解析を中心に
 延應義塾大学 谷川原 祐介

一般講演 肝障害患者の薬物投与設計の難しさ
 東京大学 大野 能之

一般講演 腎障害時における薬物動態変動の予測 -インタクトネフロン仮説の導入の必要性-
 中外製薬株式会社 浅野 聰志

一般講演 近年の小児医薬品承認品目における外挿戦略・既存データの利活用事例
 日本製薬工業協会 辻本 景英

一般講演 個人差決定要因の分離と投与最適化の予測
 千葉大学 佐藤 洋美

意見交換会（11月14日）

参加費：35,000円（宿泊費込、会員会社限定）
 初日のみ参加（12,000円）、2日目のみ参加（13,000円）も可

会場：オークラクトシティホテル浜松
 JR浜松駅メイワ改札口東口より徒歩3分（Tel. 053-459-0111）

薬物動態談話会HP、会員専用サイトで受付予定：
<http://danwakai.jp/> 年間予定より

連絡先：薬物動態談話会 企画幹事（日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社）
[@boehringer-ingelheim.com](mailto:zzDEVNCE@japaneseDrugMetabolismDiscussionGroup)